

まちの駅

まちの駅とは

地域住民や来訪者が自由に利用できる休憩場所や地域情報を提供する機能を備え、さらには地域内の交流や地域間の連携を促進する空間です。

現在全国のまちの駅のほとんどは小売店舗内に設置され、施設内には観光パンフレット等が備えられており、施設の代表者や従業員がまちの案内人となって来訪者に観光地等への道案内を行うところもあります。

地域活性化の手段として、注目を浴びています。



歴史的建造物を活用したまちの駅「秋寅の館」
(香川県丸亀市)

機能

- 休憩機能 誰でもトイレが利用でき、無料で休憩できる機能
- 案内機能 まちの案内人が、地域の情報について丁寧に教える機能
- 交流機能 地域の人と来訪者の、出会いと交流のサポートをする機能
- 連携機能 まちの駅間でネットワークし、もてなしの地域づくりをめざす機能

道の駅との違い

○設置主体に制限がない

道の駅を設置することができるのは「市町村または市町村に代わり得る公的な団体」であるのに対して、まちの駅は行政であれ、民間であれ、まちづくりの拠点として人と人の出会いと交流を促進し、少なくとも上記の機能を備えていれば設置することができます。

○設置場所に制限がない

道の駅は、基本的には自動車運転者のための休憩施設であるため、幹線道路沿いに設置されますが、まちの駅は人が休憩したり集ったりする空間であるため、どこでも設置することができます。

○設置・運営に際しほとんど費用がかからない

一部には市町村が設置した市民ホール等をまちの駅としているところもありますが、ほとんどは民間の商店等が店内の全部または一部を提供し、店長・店員らが商売の傍ら適宜案内をしたるだけであるため、専門の職員を置いているわけではありません。そのため、設置・運営に多額の投資が必要な道の駅とは異なり、費用がほとんどかかりません。